

## 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）研究成果報告書

平成 25 年 6 月 5 日現在

機関番号：14401

研究種目：挑戦的萌芽研究

研究期間：2011～2012

課題番号：23653265

研究課題名（和文） 外国人学校の社会学－「往還する人々」の教育戦略を軸に

研究課題名（英文） Sociology of Foreign Schools in Japan

研究代表者

志水 宏吉 (SHIMIZU KOKICHI)

大阪大学・大学院人間科学研究科・教授

研究者番号：40196514

研究成果の概要（和文）：本研究では、日本にある「外国人学校」のなかから 15 校ほどを事例として選び、その教育の実態と課題を明らかにし、トランスナショナル化が進む社会におけるその意義と可能性の探究を試みた。具体的に扱ったのは、「中華学校」「コリア系学校」「インターナショナル・スクール」「ブラジル人学校」の 4 つのタイプの学校である。その教育実態はさまざまな住民の多種多様な教育ニーズを反映するものであり、日本の公教育システムのなかでの位置づけをより確かなものにする必要性が見出された。

研究成果の概要（英文）：In this research, we explored the characteristics of foreign schools in Japan and extracted the issues around them to be solved. Doing this, we tried to identify the potential and social significance they embrace. Four types of foreign schools were scrutinized: “Chinese schools”, “Korean schools”, “International schools” and “Brazilian schools”.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
交付決定額	2,700,000	810,000	3,510,000

研究分野：教育社会学

科研費の分科・細目：教育学・教育社会学

キーワード：外国人学校、教育戦略、多文化教育

### 1. 研究開始当初の背景

本研究の主題である「外国人学校」は、日本社会のなかではいわば「日陰」の存在である。しかしながら、高校授業料の無償化という前民主党政権の政策との関係で、外国人学校の代表格である朝鮮学校の教育内容が争点の一つとなったことは記憶に新しい。

ここで言う「外国人学校」とは、「各種学校の認可を受けている（一条校をふくむ）、

外国人を主たる教育対象とする学校」のことで、2009 年の段階で全国に 110 校あまり存在した（内訳：朝鮮系 73 校、韓国系 4 校、中華系 5 校、ブラジル系 5 校、インターナショナル系 21 校、他 3 校）。

日本における外国人児童生徒の研究は、代表自身が行ってきた研究もふくめ、1990 年代以降、いわゆる「ニューカマー」がいかに日本の学校に適応しているかという問題を軸

に展開・蓄積されてきた。具体的には、言語・学力・進路・アイデンティティ等といったテーマが探究されてきたが、それらはあくまでも日本の公立学校を対象として展開されてきたものであり、本研究の対象とする外国人学校は、「暗数」として処理されてきたにすぎなかった。

## 2. 研究の目的

本研究の目的は、日本に存在する「外国人学校」（多くが各種学校、一部「一条校」あり）の実態と課題を教育社会学的視点から明らかにすることにある。

具体的には、事例校の学校関係者・保護者に対する聴き取り調査や授業・行事見学等を通じて、以下の3つのトピックについての検討を行う。すなわち、(1) 外交人学校の全体像の把握、(2) 保護者の教育戦略の解明、(3) 学校関係者の経営戦略の解明。

上記の作業を通じて、グローバルゼーションのもとで増大しつつある「人の移動」に柔軟に対応可能な、今後の公教育制度のあり方を考えるひとつの知識基盤の提供を図る。

## 3. 研究の方法

2年間のなかで、以下の作業を行った。

- (1) 外国人学校の全体像の把握。これについては、「外国人学校・民族学校の制度的保守を実現するネットワーク」という民間組織が一定の整理を行っているのが、唯一の先行研究であった。本調査では、出版・公開されている文書資料を最大限の努力を傾け収集・分析することによって、その教育理念・経営実態・指導内容等の全体像の把握を試みた。
- (2) 保護者が外国人学校に子どもを通わせる要因の体系的解明。整理の枠組みとなるの

が、P.ブルデューの「教育戦略」の概念である。対象となる保護者の多くが、母国と日本の両方に拠点をもつ「往還する人々」（欧米の移民研究の用語で言う circular immigrants）であり、彼らが駆使する教育戦略の諸相を、上記の4タイプそれぞれについて3~6校の事例校を定め、保護者に対する調査によって明らかにしようとした。

(3) 外国人学校側の教育方針・経営戦略の多角的把握。対象校16校の経営者・教員・同窓会関係者等に対する聴き取りを実施し、学校経営に携わる側の教育戦略をできるかぎり多面的に明らかにしようとした。

## 4. 研究成果

2年間の作業を通じて明らかになったのは、以下の諸点である。

- (1) 外国人学校も、通常の学校と変わらない学校であった。子どもたちが元気に学び、カリキュラム・授業に工夫を凝らす教師がおり、学校の存続・発展のために知恵をしぼる管理職・経営者がいた。
- (2) 他方で、外国人学校と一括されるものなかの多様な姿が見えてきた。歴史の長さ（19世紀末にスタートした学校もある）・規模の大きさ（10人程度から数百名まで）・教育内容（日本の教科書を使うところから本国のものを使うところまで）・経営者層（ブラジル人学校とインターナショナル・スクールでは日本人経営者も存在した）等において。
- (3) 各タイプの経営戦略はさまざま、簡単に概括することは難しい。それぞれが置かれたコンテクストに応じて、きわめて多様な経営戦略がとられていた。
- (4) 多くの外国人学校が高校の無償化の対象となったり、大学入学資格の認可基準が弱まったりするなかで、朝鮮学校だけに対しては

依然として「差別的」な扱いが続いている。外交・政治にまつわる問題が、こうした事態に深く影を落としている。

(5) 保護者の動きとして注目されたのは、インターナショナル・スクールのみならず、中華学校や韓国系学校にも、「ふつう」の日本人の子どもたちが通い始めているという事態である。トランスナショナル化した社会を生き抜くための教育戦略として、外国人学校への通学が注目され始めている。

## 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[学会発表] (計 3 件)

- ① ハヤシザキカズヒコ・児島明・山ノ内裕子・富永優花、ブラジル人学校はなにをになうのか、第 64 回日本教育社会学会、2012 年 10 月 28 日、同志社大学
- ② 志水宏吉・鍛冶致・敷田佳子・山本晃輔、往還する人々の教育戦略、第 64 回日本教育社会学会、2012 年 10 月 27 日、同志社大学
- ③ 山本ベバリーアン・敷田佳子・キム・ヴィクトリア、Diversity within International Schools in Japan、第 64 回日本教育社会学会、2012 年 10 月 27 日、同志社大学

[図書] (計 1 件)

(1) 志水宏吉・山本ベバリーアン・鍛冶致・ハヤシザキカズヒコ、明石書店、「往還する人々」の教育戦略—グローバル社会を生きる家族と公教育の課題、2013、344 頁

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

志水 宏吉 (SHIMIZU KOKICHI)  
大阪大学・大学院人間科学研究科・教授  
研究者番号：40196514

### (2) 研究分担者

林 寄 和彦 (YAHASHIZAKI KAZUHIKO)  
福岡教育大学・教育学部・准教授  
研究者番号：10410531  
鍛冶 致 (KAJI ITARU)  
大阪成蹊大学・経営情報学部・准教授  
研究者番号：50465655

山本ベバリーアン (YAMAMOTO BEVARY ANN)  
大阪大学・大学院人間科学研究科・教授  
研究者番号：10432436

### (3) 研究協力者

中島 智子 (NAKAJIMA TOMOKO)  
プール学院大学・国際文化学部・教授  
研究者番号：80227793

渋谷 真樹 (SHIBUYA MAKI)  
奈良教育大学・教育学部・准教授  
研究者番号：80324953

山ノ内 裕子 (YAMANOUCHI YUKO)  
関西大学・文学部・准教授  
研究者番号：00388414

児島 明 (KOJIMA AKIRA)  
鳥取大学・地域学部・准教授  
研究者番号：90366956

キム・ヴィクトリア (KIM VICTORIA)  
大阪大学・大学院人間科学研究科・特任助教  
研究者番号：00632436

山本 晃輔 (YAMAMOTO KOSUKE)  
大阪大学・大学院人間科学研究科・特任助教  
研究者番号：30710222

棚田 洋平 (TANADA YOHEI)  
部落解放・人権研究所・常勤研究員

富永 優花 (TOMINAGA YUKA)  
静岡文化芸術大学・文化政策研究科・大学院生

比嘉 康則 (HIGA YASUNORI)  
大阪大学・大学院人間科学研究科・大学院生

石川 朝子 (ISHIKAWA TOMOKO)  
大阪大学・大学院人間科学研究科・大学院生

館 奈保子 (TATE NAHOKO)  
大阪大学・大学院人間科学研究科・大学院生

敷田 佳子 (SHIKITA KEIKO)  
大阪大学・大学院人間科学研究科・大学院生

芝野 淳一 (SHIBANO JUNICHI)  
大阪大学・大学院人間科学研究科・大学院  
生

藪田 直子 (YABUTA NAOKO)  
大阪大学・大学院人間科学研究科・大学院  
生

藤根 雅之 (FUJINE MASAYUKI)  
大阪大学・大学院人間科学研究科・大学院  
生